

for your dream—

進路通信

平成30年度第8号 NO.1

平成30年11月15日

都立武蔵野北高等学校
進路部

大きな行事も終わり、勉強の季節がやってきたが、みんなの状況はどうか。**学習状況調査の結果**を見てみよう。(休日、予備校等を含む平均家庭学習時間)



1年⇒1. 74時間(6月:1. 64時間) 2時間以下が減少し、2時間以上が増え、全体の学習意欲が高まっている。平均学習時間も過去(調査を取り始めたこの10年)最高となっているので、この調子で頑張ってもらいたい。ただ、全体の意欲が高まる中、1時間未満が2割もいるのはいかがなものか。

2年⇒1. 75時間(6月:1. 48時間) 2年の秋頃に見られる中だるみには陥っていないようだ。1時間未満が減り、2~3時間以上学習する層が増え、1年と同様に全体の学習時間は過去最高となった。学習に対する姿勢が変わりつつあるので今後に期待したい。今後の詳しいことは期末試験後の説明会や、3学期の初めに行う**新3年生スタート集会**で説明する。

3年⇒4. 94時間(6月:3. 23時間)
5時間以上が7%→6%と一気に増え、ほとんどの人が真剣に学習に取り組んでいるようだ。完全に受験モードに入っているのも、**みんなと仲良く「楽しんで」**最後まで頑張ってもらいたい。全体の学習時間では、統計を取り始めて2番目の学習時間となる。37期はこの時期に70%の人が5時間以上学習していたので、本気を出せばもっとできるはずだ。

さて…… 11月における学習時間の過年度推移を見てみると、こうなる。自分の学年はどうだろうか。(25年→26年→27年→28年→29年→30年)

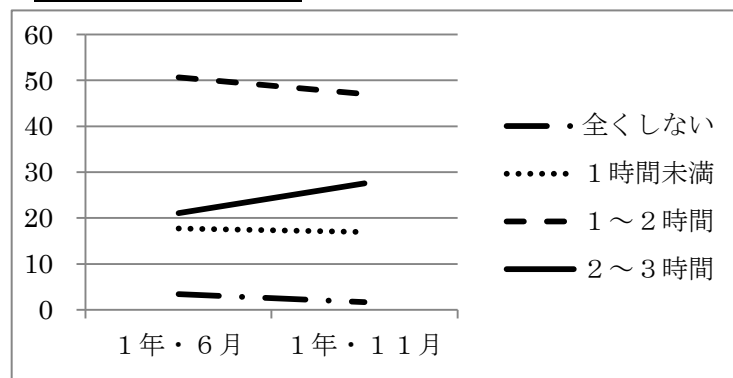
1年⇒[1.20時間→1.26時間→1.37時間→1.36時間→1.43時間→**1.74時間**]

2年⇒[1.24時間→1.37時間→1.46時間→1.49時間→1.61時間→**1.75時間**]

3年⇒[4.69時間→4.46時間→4.71時間→4.99時間→4.71時間→**4.94時間**]

各学年の推移を見てみよう!

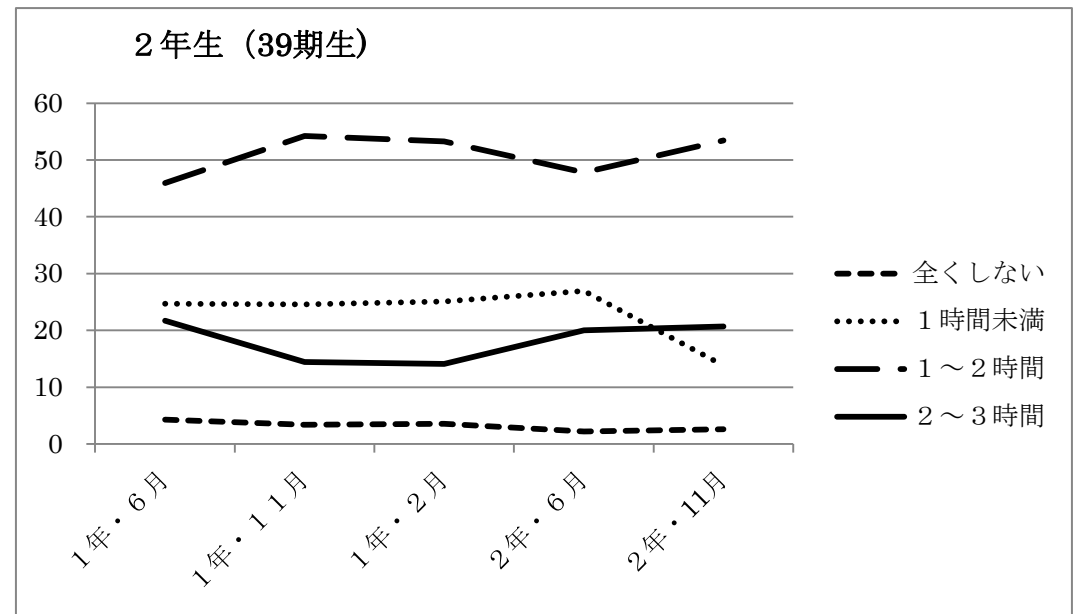
1年生(40期生)の推移



1年生は2~3時間(太線)が増えて、1~2時間(太い点線)が減っている。全体として学習意欲の高まりが感じられる。

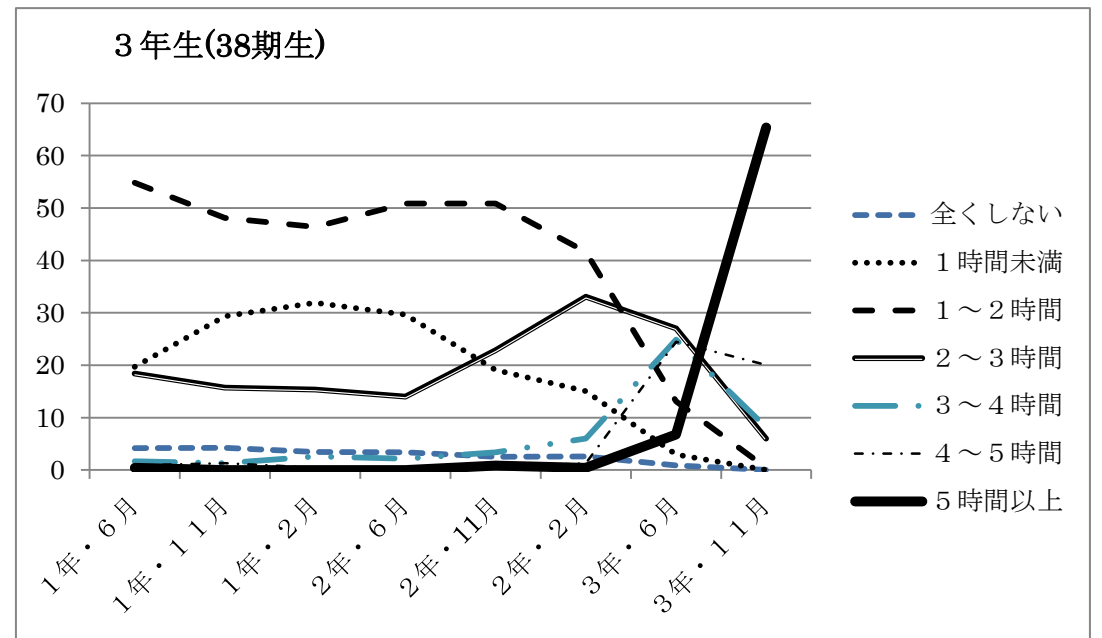
2年生も1時間未満(点線)が減って、2~3時間(太線)が増えてい

る。



3年生は以下の通り。

極太線(5時間以上)が右肩上がりに増え、しかも例年以上の急傾斜になっている。意欲的に取り組んでいることが、図からもわかる。この調子で頑張ってもらいたい。



ちなみに、家庭学習時間の目安は、

1年⇒2時間 2年⇒3時間 3年⇒5時間

と言われる。3年生この基準通りだが、1~2生はまだまだだ。今後の頑張りを期待する。

2年生は受験生になろう！

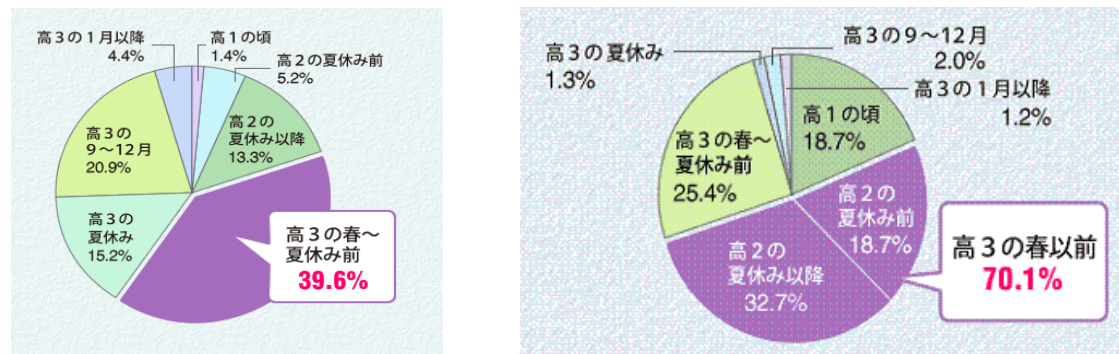
(1)2年生諸君、もうすぐ「新3年生スタート集会」だ！

2年生は先頃受けた2学期中間考査が高校生活8回目の定期考査だった。3年生の定期考査は実質的に4回だから、高校生活で受ける定期考査は計14回。つまり、考査の回数を基準にして言えば、いよいよ高校生活は折り返し点を過ぎるということになる。

そして、3学期を迎えると、「**新3年生スタート集会**」を行う。これはすなわち、「君たちはもう3年生、つまり受験生なんだよ。さあ、受験勉強をはじめよう。」という意味であり、2019年の始まりは2年生諸君にとっては受験生としてスタートを切るべき号砲となるのだ。

このように言われる理由は下のグラフを見れば明らかである。

グラフ1：受験勉強をいつ頃始めたか。 グラフ2：受験勉強をいつ頃始めておけば良かったか。

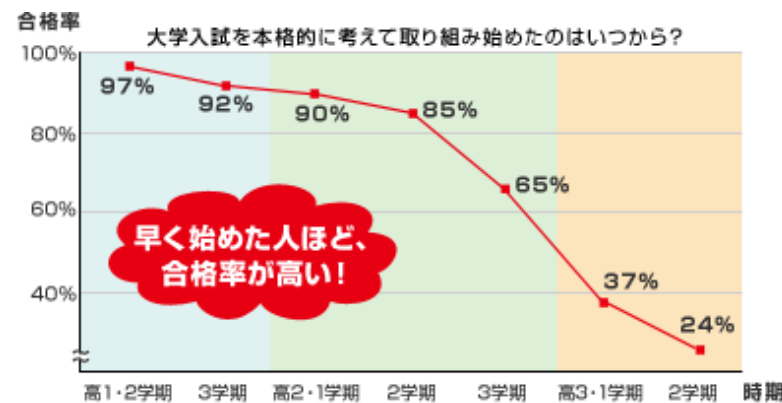


(グラフ1、2は「リクルート進学ネット」のサイトから転載)

グラフ1は実際に受験勉強を始めた時期を尋ねたもので、3年生になってから受験勉強をスタートさせた人が8割を占めている。しかし、**7割の受験生が2年生のうちに始めておけば良かったと後悔している**ことがグラフ2から読み取れる。

さらに、もう一つ下のグラフを見てもらいたい。

グラフ3 受験勉強のスタート時期と合格率の関係 (ベネッセ・マナビジョンから転載)



上のグラフから読み取れることは、受験勉強を今からやれば志望校の合格率85%、「3学期になったら始める

よ」だと合格率65%…その差、な、な、なんと20%!という事実(3年生になってからだと志望校合格率はさらに大きく落ち込む)。つまり、グラフ3は、**2年生の諸君の「今」がどれだけ大事な時期なのか**を物語っている。

「3年生になってからやればいい」とか「部活を引退してからやる」とか考えている諸君!今の考えのまま行ったら、グラフ2のように後悔することは目に見えている。今なら間に合う。

2年生諸君、受験勉強いつ始めるの?…今でしょ!

(2)「受験生になる」ために必要なことはなにか?

①まずは目標をしっかりと定めよう。

学部・学科をどうするのか?志望校をどこにするのか?3年になったら、もうどうだ悩んでいる時間はない。自分が本当に興味を持って取り組めること、入りたいと思える大学を、今この時期に真剣に考えて見つけて欲しい(ただし、今この時期に決めた目標を絶対視する必要はない。3年になって変わってもかまわない)。目標が定めれば、受験勉強に取り組む気持ちも自然と高まり、受験勉強のスタートダッシュが決められるはずだ!

②予習→授業→復習のサイクルが基本!

「今すぐ受験生になろう」と言われて「じゃ、塾・予備校を決めなきゃ」と思った君、それは大間違い!先日、3年生の国公立ガイダンス(2回目)を実施したが、そのとき外部から招いた講師の方がこう言った。「私は予備校にも行ったが、勉強を進めるうちに予備校にはだんだん行かなくなった。学校の授業を基本として、学校の先生を頼る方がはるかに実になると実感したから」と。

また、難関大学に合格した生徒が後輩相手にこう述べたのを聞いたことがある。

「授業を捨てる者に合格なし!」と。

つまり、受験勉強は決して特別な勉強ではない。予習→授業→復習のサイクルが基本なのだ。今まで授業にしっかり取り組むことができていなかった者は明日から気持ちを入れ替えて授業に真剣に取り組もう。

③自分で自分の時間をマネジメントできるようになれ!

スマホでゲームに興じている人も多いが、3年生はもちろん、2年生諸君ももはやそんなことをやってる場合ではない!SNS、動画サイト、ゲーム、マンガ等々多くの誘惑があるが、そんなものに負けていたら一人前の受験生にはなれない。こういうものに時間をとられるのは論外だし、机に向かうにしてもスマホを机の上に置いて、ちらちら気にしながら受験勉強をしていたら効率が上がらない。

誘惑を断ち切って、しっかりと自分で自分の時間をマネジメントできるようになることが「受験生になる」第一歩と心得て欲しい。

④受験は団体戦!

「受験は団体戦」というのは進学校では当たり前と言われる言葉である。

人間は環境の動物であり、周囲の雰囲気にかかれ少なかれ影響を受けるものだ。クラスの中に受験に向かっていく雰囲気が盛り上がっていけば、それが共鳴してクラス全体の力が高まり、それで勢いがついて雰囲気をさらに盛り上げる「正のスパイラル」がわき起こっていく。逆に、クラスの雰囲気がゆるんでいると、本当はガンガンやっていきたい人も何となく気が引けてテンションが下がり、クラス全体が低迷する「負のスパイラル」が起こってしまう。

本校では多くの生徒が難関校をめざしている。一人一人が本気でその目標達成をめざして高校生活を過ごせば、クラス全体の学習へのテンションは上がって当然。「正のスパイラル」を沸き起こせるように、「受験は団体戦」を合い言葉に授業やその他の学校生活に全力で取り組んでほしい。





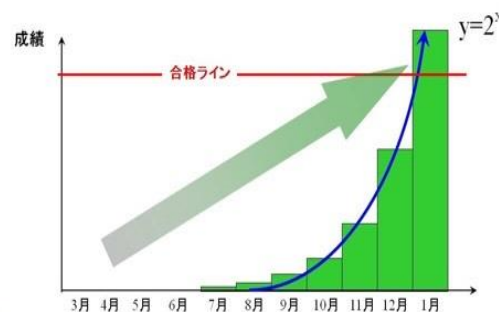
最近、3年生の模試結果が芳しくないが、そんなに気にすることはない。何度も聞いていると思うが、

現役生は最後で伸びる！

思うように成績が伸びない、なかなか意欲がわかない等、日々思い悩んでいる人も多いだろう。しかし、何事もポジティブに考えた方がいい。「この苦労は期間限定のものだ」「苦しいのは自分だけじゃない。全国で何十万人という人が同じ思いをしている」「受験ができるだけでも恵まれている」「こういう苦しさを耐えることが自分の成長につながっているんだ」と思うことで、幾分か気持ちも軽くなるはずだ。

さて、「現役生は最後で伸びる」とはよく言われるが、何年も生徒を見ているとやはりこの言葉は本当だと断言できる。事実、こちらが驚くような結果を出す生徒が毎年何人も出てくるのだ。

上のグラフを見てほしい。これはネットから引用したもののだが、「現役生は最後の最後で伸びる」ことを表している。各予備校の資料等にも同じようなグラフがあるので、やはりこれは本当だろう。ただ、多くのサイトに書かれていたのは、「もちろん現役生は最後で伸びるが、すべての生徒ではない。基礎基本をしっかりと押さえた者が努力を積み重ねることで最後に一気に伸びるのだ」ということだ。これも事実だと思うので、しっかりと覚えておいてほしい。



< 3年生に連絡 >

■ 11月下旬、駿ベネ記述+マーク模試のデータを進路室にあるPCのCompassというソフトに入れておくので、出願校決定の参考にしてほしい。志望校の判定や、合格可能性のある大学等がすぐ検索にできるすぐれものだ。ただし、使用する際には各自のパスワードが必要になるので、進路部の教員に聞くこと。データが入り次第、HRで連絡する。

■ この時期になるとセンター対策ばかりになりがちだが、「センター対策にこだわらない」ことも重要だ。センター試験は最終目的ではなく、あくまで「通過点」に過ぎない。センター対策ばかりしていると、一般入試や国公立二次対策がおろそかになってしまう。センターが終わってからでは間に合わないの、今のうちからセンター対策と平行して行った方がいい。

■ この時期になっても、**基礎固めは大切**。難問は点差が開かないので合否に大きく影響しない。合否を決定づけるのは易しい問題や標準問題がきちんとできたかどうかなので、本番が迫っても基礎をおろそかにしないこと。

■ 進路室の赤本貸出数で、合格状況は推測できるもの。どんどん赤本を解いて、傾向と対策をつかんでほしい。

■ センター試験が終わってからは家庭学習期間となるが、学校では国公立二次や私大の一般入試に向けて「**センター後講習**」を実施する。期末考査が終わったらすぐに**一覧を提示**するので、積極的に参加してほしい。「**学校に来て勉強していた者ほど合格していた**」とは以前にも書いた通りだ。

■ E判定は気にするな！

この時期、模試の結果が返ってきて、まず目にするのが合格判定だろう。E判定をもらってガックリする人も多いと思うが、AB判定なんてまずつくものではない。C判定なら「すごい！」D判定は「いける！」E判定でも「大丈夫！」(その位置をよく見よう)。**E判定でも合格した人はたくさんいる**のだから。

元気の出る言葉一覧

日々が辛いと思ったら、思い出してほしい。(毎年紹介している言葉)

「人事を尽くして天命を待つ」

「敗者が見ているのは、失敗の代償。勝者が見ているのは、成功の報酬」

「辛い時が伸びる時！」

「努力家は希望を語り、怠け者は不満を語る」

「諦めたらそこで試合終了！」

「成功は心のありさま。成功が欲しかったら、成功を思い描きはじめよ」

「勝者は敗者より多く敗北する。負け続けても挑戦する君はそれでいい。君は正しい道を走っている」

「努力は裏切らない」「苦あれば楽あり」「逆境にまさる教育なし」

「人は必ず障害に会う。誰もが負けそうになる。そこで頑張れる人間になりたい。前向きな姿勢で夢をもって歩きたい」by、イチロー

「テストはいいものだ。点数が良ければ私の能力の高さを、点数が悪ければ改善の余地を知らせてくれる。どちらの結果が出ようとも、以前の私より優れた私が得られる」

負けてると思ったらあなたは負ける。負けてなるものかと思えば負けない。勝ちたいと思っても、勝てないのではないかと思ってしまったら、あなたは勝てない。負けるのじゃないかな、と思ったらあなたはもう負けている。というのも、成功は人の考えから始まるからだ。すべてはあなたの心の状態によって決まるのだ。

自信がなければあなたは負ける。上に登りつめる高揚した精神が必要だ。

何かに勝つためには自信が必要だ。

人生の闘いに勝つのは、必ずしも最も強くて、最もすばしい人ではない。最終的に勝利をおさめるのは「私はできる」と思っている人なのだ。

by ナポレオンヒルの「成功哲学」より

